

西成特区構想の「今ここ」をお伝えする News Letter VOL.05

西成特区構想ニュースレター

発行/令和3年12月1日 発行者/大阪市西成区役所総務課 〒557-8501 大阪市西成区岸里1-5-20

新今宮駅南側のエリアリノベーション事業を実施

1 地域主体で事業を持 続的に実施できる支援

西成区では、令和元年度から、新たなにぎわい創出やまちの活性化を目的として、新今宮駅前南側一帯でイベント開催によるにぎわいづくりをしながら、活用されていない既存建物を民間でリノベーションして再生する事例を誘発し、まちの新陳代謝を促進させる「地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業」を委託により実施しています。

令和元年度から3年目となる令和3年度は、新今宮駅南側エリアにおけるにぎわい創出の取り組みを継続して実施し、地域の店舗経営者や住民主体で事業を持続的に実施できるよう新今宮駅南側地域の活性化に向けたプロジェクトの支援を行います。

2 DIYワークショップを 12月12日に実施

受託事業者において、地域のにぎわい創出に取り組むことのできるネットワークづくりや既存建物の活用につながるべく各種のリノベーションフォーラムを実施します。12月12日は、西成区役所の会議室を利用して、実践型のDIYワークショップを実施します。



(古着をリメイクした家具のイメージ)

DIYワークショップでは、若者が関わりた
いと思えるテーマとして古着を用いた要素

に加え、「社会にとってやさしい」サステイナブルな要素も取り入れて、「この服、思い入れがあるけど着ることができなくなってしまった…」という古着を家具のリメイクに使って、再び日々の暮らしに取り入れるための実践を行います。

DIYワークショップ 古着を使って家具をリメイク
申込みフォームはこちら (外部リンク)



(申込みフォームへの
QRコード)

3 若い世代の小さなチャ レンジへの協力と応援を

DIY等の実践イベントの開催を通じて、新今宮駅南側エリアにおける店舗経営者や地域住民の参画意識の醸成や、地域連携モデルの認知度向上を図り、本事業での取り組みが令和4年度以降も民間主体で継続され持続的ににぎわい創出が行われることをめざしています。また、受託事業者において、リノベーションのノウハウ等の勉強会を開催するなど、ストックのリノベーション促進によるまちの活性化が効果的となる取り組みを進める予定です。

さらに、若い世代がまちを盛り上げていくための小さなチャレンジの機会や、地域全体でまちを盛り上げる機会を作っていく工夫として、高校生や大学生などの

インターンシップが主体となりまちを盛り上げていく小さなチャレンジやまちの関係性構築を若い世代が中心となって行えるよう、地域の協力・応援を促していきます。



(インターンシップの募集イメージ)

4 地域ぐるみのエリアリ ノベーションに向けて

そして、少しでも多くの店舗等や住民などが共に協力しながら、若い世代がまちを盛り上げていくための小さなチャレンジがしやすい環境や、他業種間の交流を深め地域全体が活性化する環境を作り、地域の店舗等が協同してにぎわい創出に取り組むことのできる地域ネットワークの基盤構築をめざしています。

西成区の特성에合った、多様な地域ぐるみのプロジェクトの創出を行い、2年間で発掘した協力店舗に引き続き協力を呼びかけ、令和4年1月、2月、3月の取り組み内容が地域ぐるみのエリアリノベーションに繋がるとともに、地域連携の強化が推進されるよう取組みを支援していきます。

継続的ににぎわいの創出と西成特区構想

近年は、新今宮エリア活性化への関心は高まっており、特に、リノベーションした宿泊施設や若者向けアパートなど新たな若者を呼び込むための、滞在や一時的に住む施設が増えつつあります。

民間主体で行われるにぎわい創出が継続して行われ、ストックの再生や新陳代謝による民間主体の新たなにぎわい創出やまちの活性化に繋がっていくよう、チャレンジしやすく課題を受け止めるまちづくりを推進します。

西成特区構想のセンターピンは
あいりん地域の諸課題



西成区ホームページ
NewsLetter



YouTube

